

2025年度 事業計画書

2025年1月1日 から2025年12月31日まで

特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN

1. 事業実施の方針

ラオ・フレンズ小児病院 (LFHC) は、開院から今年 10 周年を迎える。来院したすべての患者さんが適切な医療を受け、健康を取り戻すべく、医療の質向上を目指す。年間の優先事項として、以下の点を重点に事業を進めていく。

- 医療の質向上 (院内プロトコル、治療ガイドライン評価、死亡後症例検討、事故報告書、患者満足度評価などを含む)
- ラオス人への運営移行 (リーダー育成/教育)
- ラオス人リーダーのサポート
- 子どもの権利 (虐待にあった子どものケアを中心にポリシー作成と実施)
- IT システム管理とサポート
- 予防教育 (子どもの栄養改善と地域医療スタッフの教育提供 (キャパシティビルディング))

LFHC だけでは実施が難しい事業もあるため、政府及び関係各所との連携を強化し、効果的な事業進行を図る。新人医師、シニア医師や看護師へは継続的に医療教育を実施し、どんな患者さんにも対応できる体制を整える。ラオス国内の医療の質向上のため、院外のスタッフにもトレーニングの機会を提供する。また、国内外の学会や勉強会への参加を推進し、スタッフ個々の知識とスキルにつなげる。

助成事業としては、カンボジアのシェムリアップにある「アンコール小児病院 (AHC)」への継続支援を行う。活動の進捗確認/把握に加え、定期的にヒアリング及び評価を実施する。

日本国内においては、支援者とのコミュニケーションを図る現地報告会やトークイベント、スポーツ企画等をより充実させ、誰でも気軽に「支援/関われる」企画を立案、実施する。企業においては、連携構築を目指し、事業の明確化及び現地のニーズを伝える機会を設ける。WEB 広告、寄付キャンペーン及び助成金申請を継続して実施し、新規支援者獲得及び安定した運営資金確保に努める。WEB サイト、SNS 運用、年次報告書、パンフレット等を活用し、団体広報及び認知度強化に繋げる。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【133,430】千円)

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予定額 (千円)
助成事業	アジアの恵まれない子供たちの医療支援を目的とする団体へ助成を行う。	通年	アンコール小児病院	500名	1)カンボジア人医療従事者 2)不特定多数のカンボジアの子供、教師や地域住民	30,000
医療施設運営・教育・予防事業	「ラオ・フレンズ小児病院 (LFHC)」の運営、医療・教育・予防事業を行う。	通年	ラオ・フレンズ小児病院	200名	1)不特定多数のルアンパバーン地区の子供 2)LFHC スタッフ、他医療施設スタッフ及び患者家族のべ200名以上	70,962
スタッフ派遣事業	専門家を派遣し、スタッフや住民へ医療・予防教育等を行う。	通年	ラオス、カンボジア	1名	現地スタッフ約200名及び不特定多数の地域住民	750
医療物資等運搬事業	病院のために寄贈された物品や備品等の輸送手配や、運搬を行う。	通年	法人事務所、他	5名	不特定多数の医療従事者と患者	3
普及啓発事業	WEB サイトやリーフレット、年次報告書の活用、イベント等で広報に努める。	通年	法人事務所、他	5名	不特定多数の寄付者及び参加希望者	31,715